

企画制作●岐阜新聞広告局

■「心の宇宙」を豊かに、自分の心を正す時間を持つ

曹洞宗林陽寺 住職 岩水龍峰さん

日本の社会では昔から、一人の方がなくなることはとても大変なことでした。お葬式を出す当家は、参列者にまんじゅうなどを振る舞い、皆で旅立つ故人を見送りました。併せて、お葬式は代替わりの意味合いを持っていました。後継者は、先代やお世話になってる周囲の人々にあらためて感謝しつつ、自立して歩んでいくことを示すお披露目の場でもありました。

本来、葬儀は故人と縁のある人々が集い、互いの絆を深める場であり、故人の知らない一面

を聞き知り、しのお時間です。また、自分たちは今後どのような生きていくのか、故人の生き様を振り返りながら、人生を見つめ直す機会でもあります。

しかし、現代に生きる私たちは、自分の利益を追求するあまり、これまで大切にしてきた地域や人とのつながりを軽視しがちです。物の豊かさに恵まれ、心の中の豊かさを失い、我欲に突き進む傾向が見られます。今こそ、自分を見つめ直す時間が必要ではないでしょうか。

当山では少しでも寺という場

所に足を運んでもらおうと、参禅会や写経会、ヨガ教室などを開き、自分自身を見つめる場を設けています。特に坐禅は一人ではなかなかできません。仲間がいることで坐(すわ)ることもできるのです。この一瞬を大切に、生きることにしても皆で考えることもできます。

忙しさは身を滅ぼし、大切なものを見失ってしまいます。わずかな時間でも、自分の心を正し、こころの洗濯をすることが大切です。興味や関心を広げて、「心の宇宙」を豊かに、充実した人生を過ごせるように、一日一日感謝し、努力精進する生き方こそが大切な時代ではないでしょうか。あなたもそんな時間を見つけてみませんか。

曹洞宗林陽寺
住職 岩水龍峰さん

曹洞宗八幡山林陽寺。796(延暦15)年弘法大師が草創。1665(寛文5)年松本全久院13世了然超和尚が開山第1世。4月初旬には境内に樹齢約200年



のしだれ桜が咲き、多くの人でにぎわう。門戸を開放し、毎月1土曜日心経の会(お経を読む会)、第2土曜日ヨガ教室、第2日曜日参禅会などを開催。毎年3月第4日曜日(今年は3月30日)は「しだれ桜コンサート」、夏休みには「子ども禅の集い」を開くなど、地域との絆を深める活動に取り組んでいる。岐阜市岩田西。